

ゴルフ市場の変革を目指すリーダーズマガジン

キュー GEW

10 OCTOBER
2025
vol.572

gew.co.jp

SPECIAL FEATURE

「健康産業」
としてのゴルフ
その意義と可能性を徹底検証

Golf Economic World



「エ アコン」一体型のカートで
他社と差別化します」

ファスティーサップの森本栄次社長は語気を強める。同社は今夏よりエアコン一体型のゴルフカート「SKY」(通称)の販売を開始。来夏に向けて本格的に展開する。

酷暑下の熱中症予防や、客足減少の打開策としてゴルフ場が注目しているのが、カートに後付けする冷却設備。様々な企業が得意分野を活かして参入し、ミストや送風機、クーラーなど群雄割拠の様相を呈している。森本社長もその一人だが、まずは経歴から簡単に紹介しよう。

同氏は三洋電機で充電器用の部品購買や携帯電話向けリチウムイオンバッテリーの営業、その後トヨタ・カドエナジでは中国工場長などを務め、韓国でも勤務したバッテリーの専門家だ。独立して、2022年に今の会社を設立した後、韓国3大バッテリーメーカーであるSK社製品の販売を開始。ゴルフカート向けに提案したところ、韓国・大同モビリティのカートにSK社のバッテリーが採用された。その縁で、同社のカートを日本市場に販売していくことになった。

「SK社製バッテリーは安全でコス



「エアコン一体型」で差別化 韓国製カートで日本市場に挑む

03

元人気女子プロのキム・ハヌルをイメージキャラクターに起用し、「SKY」で日本市場を攻める

を提案。日本独特の細かいニーズを取り入れるため、私も企画から参加しました」

そして6月に完成したのが前述の「SKY」である。特徴は送風でも冷風でもない「エアコン」で、通年利用でできるのが強みだとか。自動温度調整機能で、1.5ラウンドは十分

付き「クールカート」の展開を開始。昨年一気に広がったことで、「いくつかのゴルフ場へヒアリングし、これは日本での需要が高まると思う、すぐに大同モビリティに開発

またダッシュボードの収納スペースを広くとり、コースターは主流の600mlペットボトルやタンブラーも入る大きさに設計。助手席の足置きも長く、USB充電ポートも完備。フロントガラスも開閉式で、走行中に風が入りやすい。

「昨今の冷却カートは設備やバッテリーが後付けで、多くは保証が1年間。劣化するとバッテリー交換だけで20万〜30万円かかるとしています。我々の「SKY」は最初からエアコンがカートに「一体型」である点が強み。ヤマハや日立の電磁誘導にも対応しているので、買い替え需要で既に今夏は30台、来年は200台が決まっています」

価格はフルスペックのカートで約230万円。ほかにエアコンのみ非搭載の通称「UFO」(約185万円)や2人乗りカートも展開中。

「海外メーカーはサポートが遅いという不安を払拭すべく、国内2か所にサポート拠点を作り、アフターの体制も万全です」

目標は年間500台。11月には「SKY2」も完成予定と一気呵成の構えを見せる。国内メーカーの寡占状態が続くカート市場に、風穴を空ける意気込みだ。

(大天)